

令和4年度介護保険特別会計当初予算額

(単位:千円)

歳 入	予 算 額	歳 出	予 算 額
1 保 険 料	159,510	1 総 務 費	14,572
2 使 用 料 及 び 手 数 料	34	2 保 険 給 付 費	567,392
3 国 庫 支 出 金	115,130	3 地 域 支 援 事 業 費	32,318
4 支 払 基 金 交 付 金	156,455	6 基 金 積 立 金	5
5 県 支 出 金	84,591	7 公 債 費	2
6 財 産 収 入	5	8 諸 支 出 金	103
7 繰 入 金	95,879	9 繰 出 金	1
8 繰 越 金	607	10 予 備 費	607
9 諸 収 入	2,789		
歳 入 合 計	615,000	歳 出 合 計	615,000

令和4年度介護保険特別会計 予算の概要

令和4年度は第8期介護保険事業計画の中間年度であり、計画書に記載した内容やサービス量が妥当であったか等給付状況を見て検証すると同時に、2025年（団塊の世代が75歳になる年）を見据えた第9期介護保険事業計画の策定準備に取りかかる年度となります。

また、地域包括支援センターでは、「サンライフさかほぎ」への移転から2年が経過し、生活支援コーディネーターをはじめ、町社会福祉協議会と連携し易い状況となってきましたので、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大防止への対応をしながらの事業となりますが、第8期計画での目標に上がっている、「①健康づくり・介護予防」「②生きがいくくり」「③在宅介護支援」「④地域生活支援」「⑤実施体制の確立」の施策の充実を図り、高齢者自身が役割や生きがいを持って住み慣れた地域で暮らせるまちづくりに向け、強化・推進していきます。

歳入では、計画値として標準給付費567,392千円（前年比約0.6%増）をもとに、給付費の伸びに対応し、各補助金等が増額となっていますが、国・県地域支援事業交付金や財政調整交付金（負担割合5.0%のところ、0.38%の交付となるため）が減額するために、前年度より減少と見込んでいます。そのため、介護保険基金を1,998千円の繰り入れをして、保険料の抑制に努めていきます。

歳出の保険給付費の居宅介護サービス給付費266,145千円（前年比約0.9%増）や居宅介護サービス計画費28,111千円（前年比約4.7%増）では、訪問介護の利用者の増加により増額となっています。地域支援事業費の包括的支援事業費では、負担金が減額するために、前年度より1,046千円（前年比約5.3%）減少の18,644千円となります。

また、総務費の介護保険事業計画策定事業2,796千円では、令和6年度から開始となる「第9期介護保険事業計画」の準備としてのアンケート調査を実施する予算としています。

主な事業

番号	事業名	当初予算	前年度予算	比較増減
1	居宅介護サービス給付事業	266,145千円	263,698千円	2,447千円増
2	居宅介護サービス計画給付事業	28,111千円	26,845千円	1,266千円増
3	施設介護サービス給付事業	160,543千円	160,454千円	89千円増
4	地域密着型サービス事業	78,043千円	78,942千円	889千円減
5	包括的支援事業	18,644千円	19,690千円	1,046千円減

以上、介護保険特別会計歳入歳出615,000千円（前年度比1.9%減）を当初予算に計上しています。